

プラントトータル操業・保守支援システム

要 旨

三菱電機では、従来のプラント用電機品の製造・開発に加えて、IT(Information Technology)技術を核に、最少要員で競争力のある製品造りと総投資コスト(Total Cost of Ownership: TCO)ミニマム化の実現を支援するため、各種の技術革新とソリューションを提案している。

(1) 製品品質向上

- 超安定制御システムによるノータッチオペレーションの実現
- 製造プロセスにおける異常監視自動化及び自動復旧
- インテリジェントセンサによる制御プロセスの可視化

(2) 高度省力化

各ラインごとのパルピット(運転室)統合化はかなり実現されているが、今後更にこれらを複数ラインまとめた統合パルピットを実現することによって高度省力化、リソースの統合削減が可能になる。これらを実現するために、前述のインテリジェントセンサによるプロセスの可視化、ITV

画像のデジタル化、イントラネット、メディアコントローラ、マルチ大画面システムなどインフラ整備と高度情報集約が必要になる。

(3) オペレータ保守支援

今後、オペレータによる一次保守実現や、イントラネットや携帯端末による現場保守支援環境が必要となる。

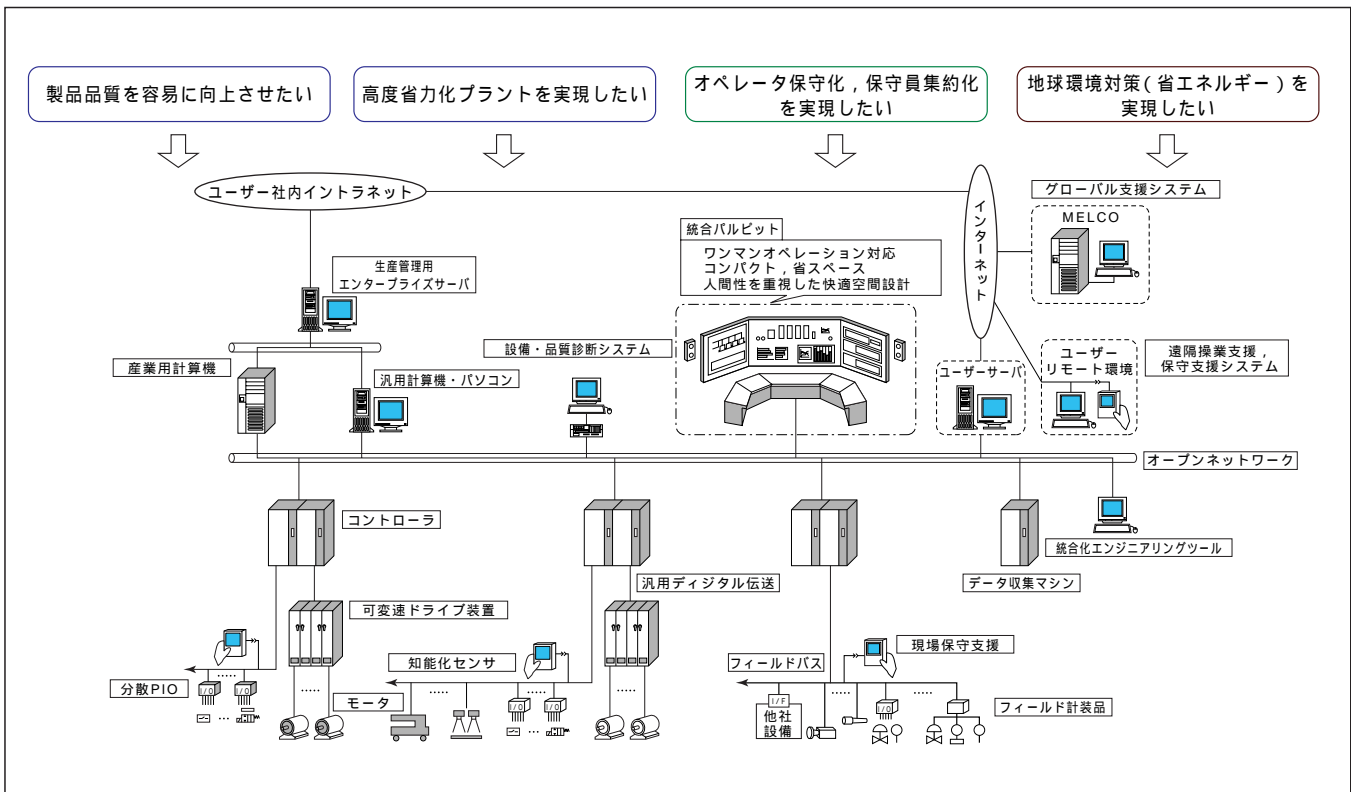
当社では、これらの実現に向けて以下を提供する。

- インターネットとイントラネットによるリモート保守支援
- 携帯端末による現場保守支援
- 保守エージェント機能によるオペレータ保守支援

(4) 地球環境対策

地球温暖化対策の一環として、当社は種類の省エネルギー対策を提唱している。

当社は、今後とも、これらの提案&実用化を幅広く行いながら、TCOを追求していく。



プラントトータル操業・保守支援システム

従来の鉄鋼プラント用電機品の提供のみならず、プラント全体に、IT技術を核に、最少要員で競争力のある製品造りとTCOミニマム化の実現を支援する。